

スタートアップガイド

hp x2100 ワークステーション



Manufacturing Part Number : A8030-90007

2002 年 5 月

© Copyright 2002 Hewlett-Packard Company

© Copyright 2002 日本ヒューレット・パカード株式会社

ご 注 意

1. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
2. 本書は内容について細心の注意をもって作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までお知らせください。
3. お客様の誤った操作に起因する損害について、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. 当社では、本書に関して特殊目的に対する適合性、市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、備品、パフォーマンス等に関連した損傷についても保証いたしかねます。
5. 当社提供外のソフトウェアの使用や信頼性についての責任は負いかねます。
6. 本書の内容の一部または全部を、無断でコピーしたり、他のプログラム言語に翻訳することは法律で禁止されています。
7. 本製品パッケージとして提供した本マニュアル、フレキシブルディスクまたはテープカートリッジ等の媒体は本製品用だけにお使いください。プログラムをコピーする場合はバックアップ用だけにしてください。プログラムをそのままの形で、あるいは変更を加えて第三者に販売することは固く禁じられています。

本書は著作権によって保護される内容が含まれます。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは、著作権法下での許可事項を除き、禁止されています。

All rights are reserved.

HEWLETT-PACKARD COMPANY

3000 Hanover Street

Palo Alto, California 94304 U.S.A.

日本ヒューレット・パカード株式会社

〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号

TEL 03-3331-6111(大代表)

Matrox® は、**Matrox Electronic Systems Ltd.** の登録商標です。

Microsoft®、**Windows®**、**MS-DOS®** および **Windows NT®** は、米国 **Microsoft Corporation** の米国における登録商標です。

Fire GL™ は、**ATI** の商標です。

Pentium® および **AGPset™** は、**Intel Corporation** の登録商標です。

WOL™(Wake on LAN) は、**IBM** の商標です。

Rambus、**RDRAM**、**Direct Rambus**、**Direct RDRAM** および **RIMM** は、**Rambus, Inc.** の商標です。

出版履歴

マニュアルの出版の日付および部品番号は、現在の版を示します。出版の日付は、最新版ができるたびに更新します。内容の小さな更新に対しては、増刷の際に対応し、出版日の更新は行いません。マニュアルの部品番号は、改訂が行われるたびに更新します。

新版の作成は、記載内容の訂正またはドキュメント製品の変更にもな行われます。HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) に掲載されているマニュアルは、頻りにアップデートされます。定期的に Web サイトを参照して、最新のバージョンを入手してください。お手元のマニュアルが最新のものか否かは、担当の当社営業に確認してください。

第 2 版 2002 年 5 月

Printing Division:

Hewlett-Packard Co.
Technical Computer Division
3404 E. Harmony Rd.
Fort Collins, CO 80525

日本ヒューレット・パカード株式会社
〒 168-0072 東京都杉並区高井戸東 3 丁目 29 番 21 号

原典

本書は、『*getting started guide hp x2100 workstation*』 (HP Part No. A8030-90001) を翻訳したものです。

安全にお使いいただくために

感電の防止	7
カバーの取り外しと取り付け	7
安全に関する情報	7
モデムをお使いの場合	8
静電気の防止	8
人間工学上の問題についての情報	8
ワークステーションのリサイクル	9
情報とサポートを得るには	10
当社 Web サイトからのダウンロード	10
プラインストールされている技術サポート情報	10
HP x2100 技術特性	11

1. ワークステーションのセットアップおよび使用方法

x2100 ワークステーションのセットアップ	14
取り付け工具	14
デバイスの接続	15
オプションのアクセサリの接続	16
電源コードの接続	17
快適で安全な作業のために	18
作業環境の整備	18
作業時の姿勢	19
その他の人間工学上の問題	20
ワークステーションの起動と停止	21
ワークステーションの起動	21
ソフトウェアの初期化	22
システム修復ディスクの作成	22
ワークステーションの停止	22
ワークステーションの構成の表示	23
ワークステーションの構成	24
HP Setup プログラムの起動	24
Main メニュー	24
Advanced メニュー	25
Security メニュー	25
Boot メニュー	25
Power メニュー	25
HP Setup プログラムでのパスワードの設定	26
パスワードを設定するには	26
電源管理の使用	26
ソフトウェアおよびドライバの入手	27

目次

2. ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決	30
トラブルシューティングのヒント	34
鍵を紛失したら	34
より詳細な情報が必要な場合	35
HP MaxiLife による問題の診断	36
ブート前チェックのエラーメッセージ	36
POST フェーズでのエラーメッセージ	37
ブート前の診断時の音による信号	38
ビープ音の回数が聞き取れなかった場合	38
HP DiagTools によるハードウェアの診断	39
e-DiagTools の入手方法	39
ハードディスク上のユーティリティパーティションから e-DiagTools を 起動するには	40
CD-ROM から e-DiagTools を起動するには	40
HP e-DiagTools の実行	40
サポートチケットの作成	41
HP リカバリ CD-ROM	42
利用可能な機能	42
リカバリを実行する前に	42
フルリカバリの実行	43
HP カスタマケアセンターの電話番号	44

A. 保証および規制に関する情報

規制に関する情報	47
HP ハードウェア保証	50
3 年間限定ハードウェア保証	50
保証限度	51
責任および補償の制限	51
出張保証サービスの受け方	51
お客様の責任	52
部品保証サービスの受け方	53
電話サポートサービス	53
HP ソフトウェア製品限定保証	54

安全にお使いいただくために

感電の防止

警告	感電を防ぐため、電源装置を開けないでください。電源装置内部をお客様が直接修理することはできません。
	感電およびレーザー光による眼球の損傷を防止するため、レーザーモジュールを開けないでください。レーザーモジュールの点検、修理は、サービス担当者が行いますので、レーザーユニットの調整などは行わないでください。電力要件および波長については、CD-ROM ドライブに記載のラベルを参照してください。この製品は、クラス 1 のレーザー製品です。

カバーの取り外しと取り付け

警告	安全のため、ワークステーションのカバーを取り外す際には必ず電源コードをコンセントから抜き、通信ネットワークへの接続ケーブルをすべて取り外してください。ワークステーションに電源保護装置が取り付けられている場合は、オン/オフスイッチを使用してコンピュータをシャットダウンし、電源コードを抜いてからワークステーションのカバーを取り外します。必ず、電源保護装置のケーブルを取り外してから保守作業を行ってください。ワークステーションの電源を入れる前には、必ずカバーを元の位置へ戻してください。
----	---

安全に関する情報

警告	電池は正しく装着してください。破裂する危険性があります。安全のため、使用済みの電池を充電または分解したり、火気に近づけたりしないでください。電池を交換する場合は、メーカーが推奨する同一または同等タイプの電池を使用してください。
	ワークステーションに内蔵されている電池はリチウム電池で、重金属は含有しておりません。しかし、環境保護のため電池は一般の廃棄物として捨てないでください。使用済みの電池は、電池の販売店、ワークステーションの取り扱い店、または当社にご返却ください。リサイクルや正規の廃棄処理が行われます。

モデムをお使いの場合

- 落雷の危険性がある間は、本製品を電話回線に接続しないでください。また、湿気のある場所でジャックの取り付けを行う場合や、心線の露出した電話線または端子に触れる場合には、必ず電話線をネットワークインタフェースから外しておいてください。電話線の取り付けや付け替えを行う場合には、十分な注意が必要です。また、落雷の危険性がある間は、電話の使用は避けてください (コードレス電話を除く)。落雷による感電の恐れがあります。
- 通信ボードに触れたり、取り外しを行う場合には、まずはじめに電話回線との接続を切断してください。
- № 26 AWG 以上の電話線をご使用ください。

警告	コンピュータ内の部品は高温になっていることがあります。手を触れる際には、温度が下がるまでお待ちください。
-----------	---

静電気の防止

注意	静電気により電子部品が損傷することがあります。アクセサリカードを取り付ける際には、すべての機器の電源をオフにしてください。また、衣服がアクセサリに触れないようにご注意ください。静電気の影響を避けるため、アクセサリカードを梱包用のビニール袋から取り出す際には、袋ごとワークステーションの上に置いた状態でアクセサリカードを取り出してください。必要以上にカードに触れないようにし、慎重に取り扱ってください。
-----------	--

人間工学上の問題についての情報

ワークステーションを使用される前に、人間工学に関する情報をぜひともご一読ください。この情報は、本書の「快適で安全な作業のために」に記載されています。

お使いのワークステーションから、より広範な人間工学上の情報にアクセスするには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] -> [HP Info] -> [Working in Comfort] の順にクリックするか、当社の Web サイト (www.hp.com/ergo) にアクセスしてください。

ワークステーションのリサイクル

当社では、環境問題に対して積極的に取り組んでいます。HP ワークステーションには最大限環境に配慮した設計を行い、耐用期間が終了したワークステーションに対してはリサイクル処理を行っています。製品の回収制度は、現在数カ国で実施されています。回収された機器は、HP ヨーロッパまたは HP カンパニーのリサイクル施設に送られたのち、再利用可能な部品が取り出され、残りの部分に対しては再生処理が施されます。当社では、電池をはじめ、有害物質には特別な処置のもと、特殊化学処理を経て、無害な成分に還元しています。

情報とサポートを得るには

表 1

目的	参照先
コンピュータのセットアップ	<ul style="list-style-type: none">『x2100 インストール ポスター』— ワークステーションに同梱。基本的な情報のみが記載されています。本書 — 基本的な情報のみが記載されています。
ワークステーションのトラブルシューティング、アクセサリのインストール、HP Part 番号の検索	<ul style="list-style-type: none">本書 — 基本的な情報のみが記載されています。『x2100 Technical Reference and Troubleshooting Manual』— 完全な情報が記載されています (以下の Web サイトを参照)。システムボードのスイッチ、IRQ、DMA、I/O アドレス、消費電力と騒音放出テストの構成、ネットワーク接続の構成、部品の取り付け、およびトラブルシューティングなどの情報が記載されています。
サポート情報	www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語) — ダウンロード可能なマニュアル類、ドライバとユーティリティ、サービスオプションとサポートオプションが用意されています。
保証についての情報	このマニュアル付録 A の「HP ハードウェア保証」または「HP ソフトウェア製品限定保証」を参照してください。

当社 Web サイトからのダウンロード

HP ワークステーション Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) では、マニュアル、サービスオプションやサポートオプション情報、および最新バージョンのドライバやユーティリティなどが無償で提供されています。

上記ガイドの表示および印刷には、Adobe 社の Acrobat Reader がインストールされている必要があります。Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated の Web サイト (www.adobe.com (英語)、www.adobe.co.jp (日本語)) から無償でダウンロードできます。

プリインストールされている技術サポート情報

システムには *HP Instant Support* を含むサポート情報がプリインストールされています。この情報を表示するには、Windows の [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム]、[HP Info]、[Your HP Workstation] の順に選択してください。

HP x2100 技術特性

特性	HP x2100 ワークステーション
重量 (CD-ROM ドライブ 1 台の構成、キーボードとディスプレイを除く)	14.4kg(31.68 ポンド)
寸法	幅 : 21.0cm(8.26 インチ) 高さ : 49.0cm(19.29 インチ) 奥行き : 47.0cm(18.50 インチ)
設置面積	0.09 m ² (1.06 平方フィート)
騒音放出値 (ISO 7779) 動作時 (待機状態):	音圧レベル LwA <=40.5dBA
電源装置 入力電圧 (入力電流、最大) 入力周波数 最大出力電力	100 ~ 127VAC、5.5A 200 ~ 250VAC、2.5A 50/60Hz 492W
消費電力	25W
保管時湿度	8 ~ 85% (相対湿度)
動作時温度	+10 ~ +35 °C (+40 ~ +95 °F)

注記

動作時の温度および湿度の範囲は、設置されている大容量記憶装置によって異なります。湿度レベルが高くと、ディスクドライブの動作不良の原因となることがあります。湿度が低いと、静電気による問題が増加したり、ディスク表面が過度に磨耗したりすることがあります。

消費電力および騒音の数値は、標準構成の場合に該当します。構成については、www.hp.com/workstations(英語)、www.jpn.hp.com/go/workstation(日本語) にアクセスしてください。

注記

前面パネルの電源ボタンでコンピュータの電源を切ると、消費電力は 3W 以下に下がりますが、ゼロにはなりません。この方法で電源のオンオフを行う方が電源装置への負担が少なくてすみます。電源が「オフ」モードになっているときの消費電力をゼロにするには、電源プラグを抜くか、スイッチ付きの配電ユニットを使用します。消費電力がゼロの状態が長期間続くと、内蔵電池の寿命が短くなります。

1 ワークステーションのセットアップおよび使用方法

本書は、x2100 ワークステーションの初期セットアップ、基本的なトラブルシューティング、および保証についての要点を記載しています。

x2100 ワークステーションのセットアップ

警告	ワークステーションやモニターを安全に持ち上げる自信のない方は、一人で移動しようとししないでください。
-----------	---

1. ワークステーションが届いたら、すべてのコンポーネントが揃っていることを確認します。
2. ワークステーションは、電源コンセントに近く、キーボードやマウス、その他のアクセサリを置く十分なスペースがある場所に設置します。
3. セットアップの際は、ワークステーション背面での接続作業がしやすいよう、本体の向きを調節します。

取り付け工具

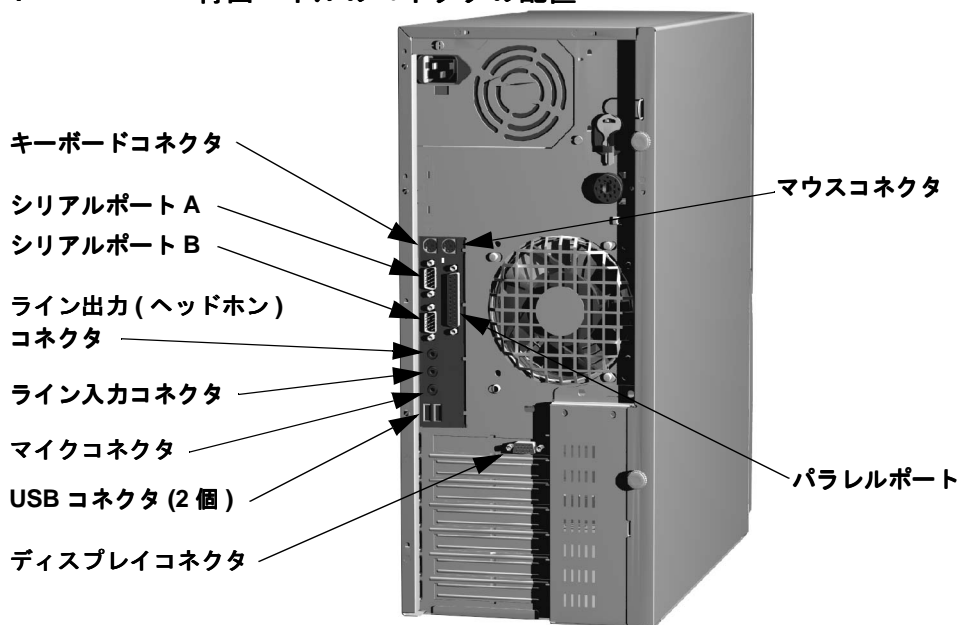
ワークステーションのセットアップには、工具は必要ありません。ただし、ワークステーション内部にアクセサリを設置または交換する場合は、**T-15** トルクスドライバおよびマイナスドライバが必要になります。

デバイスの接続

ワークステーションにコードやケーブルを接続する前に、本書の「安全にお使いいただくために」の項に記載されている注意事項をよくお読みください。

グラフィックスカードの設置が必要な方は、この時点でお取り付けください。設置手順につきましては、カードに付属の説明書を参照するか、『*x2100 Technical Reference and Troubleshooting Guide*』（英語）（www.hp.com/go/workstationsupport（英語）で入手できます）を参照してください。

図 1-1 背面パネルのコネクタの配置

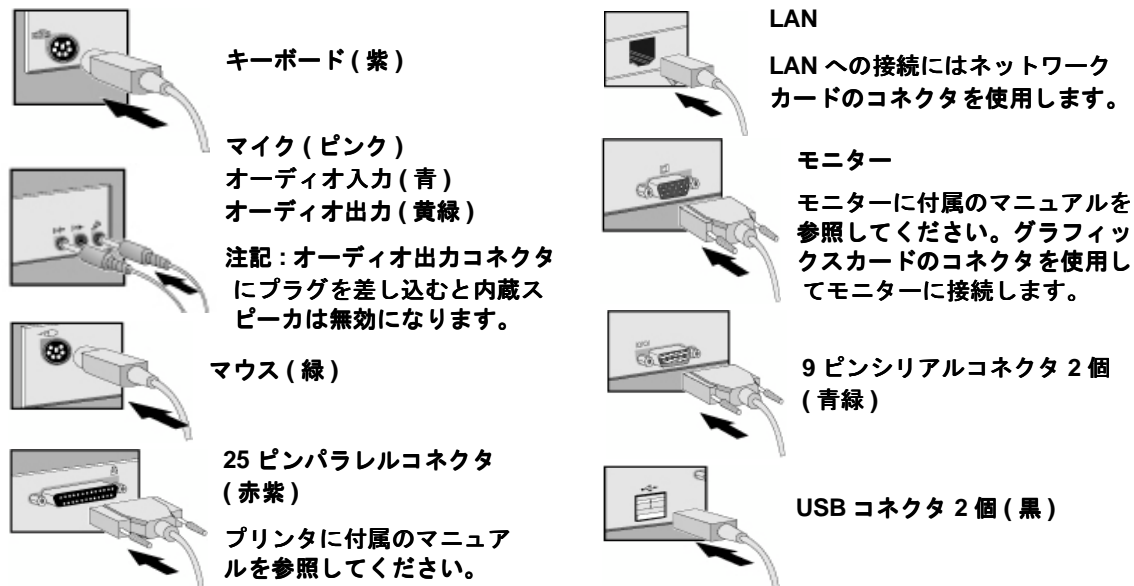


ワークステーションのセットアップおよび使用方法

x2100 ワークステーションのセットアップ

色分けされたコネクタには、同色のケーブルを接続します。コネクタの形状に合わせて、決まった方向から差し込んでください(図 1-2 の一般的なコネクタの形状を参照)。

図 1-2 一般的なコネクタ形状



オプションのアクセサリの接続

警告

システムの起動後は、スピーカとヘッドホンのボリュームは最大に設定されています。ヘッドホンやスピーカを使用する前に、必ずボリュームを下げてください。予期せぬ大音量や静電気を防止することができます。大音量のサウンドを長時間聴いていると、難聴になる恐れがあります。ヘッドホンを装着する前に、首にかけてボリュームを絞ってください。次にヘッドホンを装着し、快適な聴取レベルになるまでボリュームをゆっくり上げていきます。ひずみがなく、快適ではっきりと聴こえるようになったら、ボリュームの調整は終了です。

注記

スピーカまたはヘッドホン用コネクタ (黄緑) にプラグを差し込むと、ワークステーションの内蔵スピーカは無効になります。オーディオ機能を使用する場合は、ヘッドホンまたはスピーカを接続するか、スピーカまたはヘッドホンのコネクタ (黄緑) を外してワークステーションの内蔵スピーカを使用します。

電源コードの接続

警告	安全のため、必ずアース付きの壁コンセントに装置を接続してください。電源コードは、この装置に付属するコードまたは国の安全基準に準拠したコードなど、適切にアースされたプラグ付きのコードを必ず使用してください。この装置は、電源コードをコンセントから外すことで電力が切断されます。電源コンセントの近くに装置を設置してください。
-----------	--

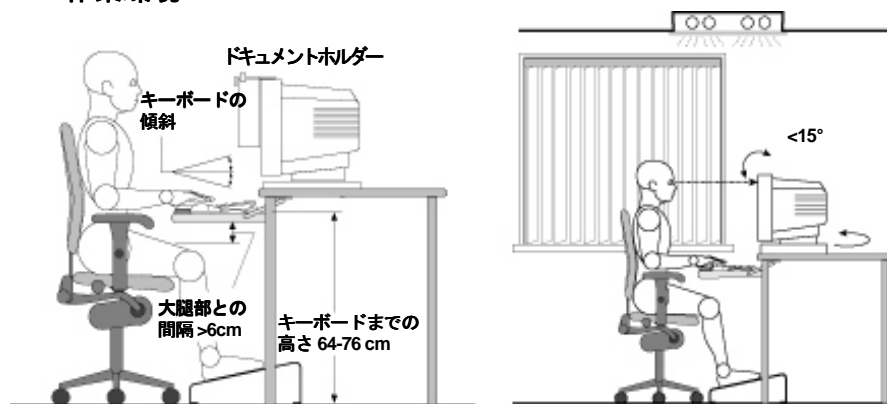
1. 電源コードをモニターおよびコンピュータの背面に接続します (コネクタの形状は、決まった向きで差し込むようになっています)。
2. モニターの電源コードとコンピュータの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。

快適で安全な作業のために

作業環境の整備

コンピュータ機器を使用するときは、以下のように快適で、生産性を向上させるような作業環境を整えることが重要です。

図 1-3 作業環境



- **作業面の高さ** - 作業面の高さが調整できるものを使用してください。作業面が正しい高さになるようにするには、まず床または傾斜付きのフットレストに足がしっかり着くように椅子の高さを調整します。次に、キーボードなどの入力デバイスに手を置いた際、前腕部が床と平行になるように作業面の高さを調節します。
- **椅子** - 使用する椅子は、高さと傾斜の調節機能があり、座面に丸みがあり、脚部が安定している快適な姿勢を保てるものを使用してください（たとえば、脚は 5 本でキャスター付き、背もたれが調節可能、左右に回転でき、調節可能なクッション付きのアームレストのあるもの）。
- **モニター** - 画面の上端が目の高さと同じか、やや下（最大 15° ）になるようにモニターを配置します。

- **作業面上の配置** - モニター、ドキュメントホルダー、キーボード、マウスなどの入力デバイス、およびヘッドホンやスピーカなどの、**HP** ワークステーションシステムを構成するすべての要素は、個々の好みに合わせて最適な配置と調節を行うようにしてください。たとえば、キーボードを主に使用する場合は、キーボードは脇に置かず、正面に置きます。作業中にマウスなどのポインティングデバイスを頻繁に使用する場合は、そのデバイスを右腕または左腕の直前の位置に置きます。マウスとキーボードの両方を使用する場合は、これらを同じ高さの作業面上に隣り合わせに配置します。パームレストを使用する場合は、その高さがキーボードの前端部と同じものを使用してください。電話やメモなどの、その他の備品もよく考慮して配置してください。

注意

マウス、キーボードをはじめとする入力デバイスの使用状況によっては、不快感を感じたり、人体に悪影響を及ぼす危険を増加させることがあります。これらのデバイスを適切に配置して、最も快適で安全に作業を行えるようにしてください。

作業時の姿勢

同じ姿勢で長時間座り続けるのは、快適なことではありません。人体への苦痛や悪影響を及ぼす危険を最小限にするためには、正しい姿勢を保つことが大切です。

- **頭部** - モニターを見るときは、頭部の傾きは **15°** 以内になるようにしてください。また、頭部を左右に傾けないようにします。
- **背中** - 作業面の方向に向いて座っているときは、まっすぐか、後方にやや傾けた状態で背中が椅子の背もたれによって支えられるようにします。
- **腕** - 腕と肘の力を抜いてリラックスし、上腕部は床に対して垂直か、やや傾けた (**15°** 以内) の状態にします。前腕部と手は、肘を **70° ~ 115°** 度曲げた状態で床とほぼ平行になるようにします。肘は脇からあまり離しません (胴からの角度は **20°** 以下)。
- **手、手首、前腕** - マウスやキーボードなどの入力デバイスを操作するときは、手首と前腕部をリラックスした自然な位置に保つようにしてください。たとえば、キーボードやマウスを使用するときは前腕部をデスクトップ上にゆったりとのせます。
- **脚** - 大腿部は水平またはやや前傾状態になるようにします。ひざから下は、大腿部に対してほぼ直角になるようにします。作業面と脚との間には十分な空間ができるようにしてください。
- **足** - 椅子を調節した後に床に足が楽に着かない場合は、フットレストを使用します。なるべく高さや角度が調節可能なものを使用してください。

その他の人間工学上の問題

- ときどきスクリーンから目を離し、目の疲労をやわらげます。また、遠くのものに少しの間焦点を合わせ、一定の間隔でまばたきをして目の乾燥を防ぎます。さらに、定期的に目の検査を受けてください。また、眼鏡やコンタクトレンズをご使用の方は、常にコンピュータのモニターを見る作業に適した状態であるよう心掛けてください。
- ときどき姿勢を変えたり、体を動かしたりすることを忘れずに実行してください。ある姿勢を長時間保つのは自然な状態ではないため、ストレスが多くかかります。長時間にわたって作業しなければならないときは、短い時間でも頻繁に休憩するようにします。おおよその目安として、**1時間ごとに5分から10分の休憩**を取るとよいでしょう。短い休憩を多くとる方が、長い休憩を少なくとるよりも効果的です。長時間にわたって休憩を取らずに作業すると、人体に悪影響を及ぼしやすいことがデータによって示されています。
- 時々別の作業を行うと、筋肉の硬直を防ぐのに役立ちます。たとえば、キーボード入力、読み書き、ファイリング、作業環境内での移動などの作業を交互に行うと、リラックスした姿勢を保てます。手や腕、肩や首、背中の筋肉をときどきストレッチします。少なくとも**1時間に1度**、作業を少し中断してストレッチを行ってください。
- 人間工学に基づいたデザインのものやアクセサリを使用すると、不快感が軽減されることがあります。たとえば、人間工学に基づいた自分専用の椅子、パームレスト、キーボードトレイ、代替入力デバイス、調整された眼鏡、ノングレア処理されたスクリーンなどです。詳細については、会社、医師、最寄りのオフィス用品販売店、およびオンライン版の「*Working in Comfort*」に記載された *Information Sources* などの情報源を利用して探してください。「*Working in Comfort*」は、当社のコンピュータ機器のハードディスクにプリインストールされているほか、当社の **Web サイト (www.hp.com/ergo)** から入手できます。

ワークステーションの起動と停止

ワークステーションにソフトウェアがあらかじめインストールされている場合、これらのソフトウェアは、ワークステーションがはじめて起動する際に初期化されます。このソフトウェアの初期化プロセスには数分かかります。このプロセスでは、ソフトウェアで表示される言語の設定や、コンピュータに設置されているハードウェアとの関連付けが行われます (ソフトウェアが初期化された後でも設定変更は可能です)。

ワークステーションの起動

1. ワークステーションを起動する前に、モニターの電源を入れます。
2. 前面パネルの電源ボタンを押して、ワークステーションを起動します。

コンピュータの電源を入れると、ワークステーションのロゴが表示されている間に電源投入時の自己診断 (**POST**) が行われます。自己診断の詳細を表示する場合は、**[Esc]** キーを押します。**POST** でエラーが検出された場合は、エラーが自動的に表示されます。

3. ワークステーションのセットアップ中にパスワードを設定した場合は、**POST** の完了後、パスワードプロンプトが表示されます。パスワードプロンプトが表示された場合は、設定したパスワードを入力し **[Enter]** を押してワークステーションが使用できる状態にします。

ソフトウェアの初期化

注記 ソフトウェアの初期化中はワークステーションの電源を切らないでください。予期せぬ事態を招くことがあります。

ソフトウェアを初期化するには、以下の手順に従います。

1. ワークステーションの電源を入れ、POST が完了すると、ソフトウェアの初期化プロセスが開始されます。このプロセスでは、ソフトウェアのライセンス許諾、「**Working in Comfort**」(コンピュータユーザーへの人間工学に基づいたアドバイス)、ワークステーションに関する入力項目の順に展開されます (「**Working in Comfort**」 に関してはスキップすることができます)。
2. 初期化プロセスが終了したら、[OK] ボタンをクリックしてワークステーションを再起動します。

システム修復ディスクの作成

ソフトウェアの初期化中に、オペレーティングシステム修復ディスクの作成を求めるメッセージが表示されます。必ず、この時点で作成されることをお勧めします。また、ディスクの作成には、未使用のディスクをご利用ください。

修復ディスクを作成する方法の詳細については、アプリケーションソフトウェア、またはオペレーティングシステムに付属するマニュアルを参照してください。

ワークステーションの停止

ワークステーションを停止するには、アプリケーションがすべて終了していることを確認したのち、スタートメニューの [シャットダウン] コマンドを使用します。電源を切るようメッセージが表示されたら、ワークステーションの電源ボタンを押します。

電源を切ることを求めるメッセージが表示されるまでは電源ボタンを押さないでください。ボタンを押してしまうと、開かれているアプリケーションで保存されていないデータが失われることがあります。

ワークステーションの構成の表示

Summary 画面には、ワークステーションの現在の構成概要 (BIOS のバージョン、CPU の速度、メモリモジュールのサイズ、およびインストールされている大容量記憶装置など) が表示されます。

初めてワークステーションを使用するとき、またはアクセサリの取り付けや取り外し、アップグレードを行った後は、必ずワークステーションの構成を確認してください。構成を確認するには、以下の手順に従います。

1. ディスプレイ、ワークステーションの順に電源を入れます。ワークステーションの電源がすでにオンになっている場合は、データを保存し、プログラムをすべて終了してから、ワークステーションを再起動します。ワークステーションの電源のオフおよび再起動に関する特別な手順については、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。
2. 起動時のロゴがディスプレイに表示されたら、**[Esc]** を押します。これにより、**Summary** 画面が表示されます (**Setup** プログラムをすぐに起動するには、**[Esc]** ではなく **[F2]** を押して **Summary** 画面を省略します)。 **Summary** 画面はすぐに表示されなくなります。キーボードの **[Pause/Break]** キーを押すと、次に別のキーを押すまで **Summary** 画面が表示されたままになります。

ワークステーションの構成

Setup プログラムを使用してワークステーションを構成し (たとえば、システムやユーザーのパスワード設定、大容量記憶装置のインストールやアップグレード)、構成上の問題を解決します。

システムの設定に関する変更内容は、すべて書きとめておくことをお勧めします。

HP Setup プログラムの起動

1. ディスプレイ、ワークステーションの順に電源を入れます。ワークステーションの電源がすでにオンになっている場合は、データを保存し、すべてのプログラムを終了してから、ワークステーションを再起動します。
2. 画面の下部に **F2 Setup** と表示されている間に、**[F2]** キーを押します。
[F2] キーを押すのが間に合わず、起動プロセスが続行された場合は、ワークステーションを再起動し、電源投入時の自己診断が再度実行されてから **[F2]** キーを押さなければなりません。

ワークステーションの **Setup** プログラムの開始画面が表示されます。メインメニューには、インストールされている **BIOS** のバージョンや日付と時刻などのフィールドリストが表示されます。

画面上部のバーには、メニューのリストがあります。左右の矢印キーを使用してメニューを選択します。

Main メニュー

Main メニューには、以下のようなフィールドのリストが表示されます。

- The installed BIOS version
- Reset Configuration Data
- System Time
- System Date
- Key Click
- Key Auto-Repeat Speed
- Delay Before Auto-Repeat
- NumLock at Power-on

デフォルトでは、「Reset Configuration Data」が **[No]** に設定されています。**[Yes]** を選択すると、システムの構成データがクリアされ、デフォルトの設定に戻ります。

Advanced メニュー

Advanced メニューにはサブメニューのリストがあります。サブメニューでは、以下の作業を実行できます。

- メモリキャッシュ、USB ポート、I/O ポート、および内蔵型オーディオデバイスの構成
- フロッピーディスクドライブ、IDE デバイス (プライマリおよびセカンダリ) の有効化
- ワークステーションのデバイスの設定

Security メニュー

サブメニューが表示されます。ここでは、**System Administrator Password**、**User Password**、**Power-on Password**、**Fixed Disk Boot Sector** の特性と値を変更したり、フロッピーディスク、CD-ROM、および IDE-HDD のドライブから許可なく起動することを防止したりできます (26 ページの「**HP Setup** プログラムでのパスワードの設定」を参照してください)。

Boot メニュー

BIOS がオペレーティングシステムのブートを試行するデバイスの順序を選択します。**QuickBoot** モードオプションを選択すると、ブート時のテストが一部省略されます。これにより、システムのブートに必要な時間が短縮されます。

Power メニュー

Network Interface オプションを使用すると、ネットワークインタフェースが特定のコマンドを受信した際にシステムを通常の動作速度に戻すことができます。

電源投入時の初期化パラメータを変更すると、**Setup** はシステムの動作を変更します。不正な値を設定すると、システムがブートできない原因になることがあります。このような状態になった場合は、**[F9]** を押してセットアップのデフォルト値をロードして修復します。

HP Setup プログラムでのパスワードの設定

パスワードを設定し、さまざまなレベルでワークステーションを保護することができます。パスワードには、管理者パスワード、ユーザーパスワード、電源投入時パスワードがあり、これらのパスワードの設定は、**Setup** プログラムの **Security** メニューで行います。

管理者は、**Setup** プログラムのすべての設定にアクセスし、変更を加えることができますが、ユーザーは **Main** メニューの特定の項目へしかアクセスできず、その範囲内でしか変更を加えることができません。

Power-on Password オプションを有効にすると、ワークステーションをブートするたびにパスワードを入力しなければなりません。このときには管理者パスワードまたはユーザーパスワードを入力します。

パスワードを設定するには

1. **Setup** プログラムを起動します。
2. **[Security]** メニューを選択します。
3. **[Administrator]** または **[User]** パスワードのサブメニューを選択します。
4. **[Set Administrator]** または **[User Password]** のセットアップ項目を選択します。パスワードは 2 回入力する必要があります。

Power-on Password を有効にするには、**[Enabled]** のセットアップ項目を選択します。

1. 変更を保存して **Setup** プログラムを終了するには、**[Esc]** を押すか、**[Exit Menu]** を選択してから、**[Exit Saving Changes]** を選択します。

パスワードを削除するには、パスワードの設定と同じ手順に従います。最初に既存のパスワードを入力することが求められます。次に、新しいパスワードの入力フィールドを空白にしたまま、**[Enter]** を押します。さらに、確認のため再度 **[Enter]** を押します。

電源管理の使用

電源管理を使用すると、ワークステーションが待機状態のときに動作速度を遅くして、ワークステーション全体の消費電力を低減できます。消費電力についての詳細は、当社 **Web** サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)) の『*x2100 technical reference*』(英語)を参照してください。

オペレーティングシステムによって電源管理機能は異なります。詳細は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

ソフトウェアおよびドライバの入手

HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)) の「**Software and Drivers**」セクションでは、ご利用中のワークステーションに対応した最新のドライバや BIOS をダウンロードできます。

また、新しいドライバの情報を自動的に入手するための登録も行っております。

サポートされているデバイスの最新リストについては、最寄りの代理店にお問い合わせいただくか、HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)) でご確認ください。

CD-RW ドライブをご使用の前に

ご使用の HP ワークステーションにインストールされている CD-RW ドライブには、ソフトウェアがプリロードされていません。CD-RW ドライブの書き込み / 再書き込みの機能をご使用になる前に、**Application CD-ROM**（ワークステーション添付またはアクセサリキット付属）から手動でアプリケーションをインストールしてください。アプリケーションのインストールは、以下の手順で行います。

1. CD ドライブに **Application CD-ROM** を挿入します。
2. インストールウィンドウが表示されたら、言語を選択して、指示に従ってアプリケーションをインストールします。
3. すべてのアプリケーションがインストールされたら、システムを再起動します。
4. システムの再起動後、CD-RW ドライブのすべての機能が使用できるようになります。

上記のソフトウェアパッケージをインストールしない場合には、CD-RW ドライブの読み取り機能しか使用できません。

2 ワークステーションのトラブルシューティング

この章には、**x2100** ワークステーションの基本的なトラブルシューティングについての主要な情報が記載されています。

ハードウェアの問題の解決

この表には、基本的なトラブルシューティングのヒントが記載されています。詳細は、本書の「HP MaxiLife による問題の診断」の項を参照してください。

表 2-1 ワークステーションが正常に起動しない

ワークステーションの電源が入りません。	
確認事項	対処方法
ワークステーションの電源コードがしっかりと接続されていますか。	通電しているコンセントとワークステーションの背面を電源コードで接続します。
パワーオンセルフテスト (POST) でエラーが表示されます。	
ワークステーションの起動時にエラーメッセージが表示されたり、特定のビープ音が鳴ったりする場合は、構成に問題があることを示しています。	
確認事項	対処方法
パワーオンセルフテスト (POST) で、構成の一部にエラーが検出されています。	本書の「POST フェーズでのエラーメッセージ」を参照します。POST エラーについての詳細なヘルプは、HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、 japan.support.hp.com/support (日本語)) にあるトラブルシューティング情報を参照してください。
問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools または DiagTools を実行します (39 ページを参照)。	
ブザーが鳴ります。	
これは、ブート前の診断機能によるものです。この機能により、ワークステーションの問題が検出されます。	<ol style="list-style-type: none">ブザーが鳴った後のビープ音の回数を数えます (「ブート前の診断時の音による信号」の項を参照)。HP サポートに連絡します (44 ページを参照)。

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある

キーボードが動作しません。	
確認事項	対処方法
キーボードのケーブルが正しく接続されていますか。	キーボードのケーブルを、ワークステーション背面のキーボードコネクタに接続します。簡単に識別できるようにコネクタが色分けされています。
キーボードに異物や押されたままになったキーがありませんか。	キーの高さがすべて同じかどうか、押されたままのキーがないかどうかを確認します。
キーボード自体に異常はありませんか。	他のキーボードが正常に作動する別のコンピュータに接続し、キーボード自体が故障していないことを確認します。
適切なドライバを使用していますか。 Windows がプリインストールされているシステムにはドライバが用意されています。他のオペレーティングシステムの場合は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。	最新のドライバを当社の Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) からダウンロードします。
最新の BIOS を使用していますか。	最新の BIOS を当社の Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) からダウンロードします。
USB キーボード接続を使用する場合は、 Windows 2000 または Windows XP オペレーティングシステムをご使用ください。	現在のところ、 Windows NT は USB 接続をサポートしておりません。
モニターが動作しません。	
ワークステーションの電源インジケータランプは点灯しますが、モニターには何も映りません。	
確認事項	対処方法
モニターの電源はオンになっていますか (LED が点灯していますか)。	LED の点灯状態 (緑色、オレンジ色、または点滅) についての説明は、モニターのマニュアルを参照してください。

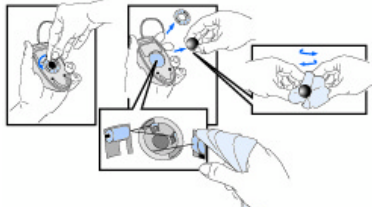
ワークステーションのトラブルシューティング

ハードウェアの問題の解決

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

モニターの電源コードはしっかりと接続されていますか。	電源コードを接続します。モニターの電源コードを正常に通電するコンセントに接続します。
グラフィックスカードが取り付けられていて、モニター (ビデオ) ケーブルも正しく接続されていますか。	モニター (ビデオ) ケーブルを接続します。ケーブルは、ワークステーションとモニターに正しく接続してください。ケーブルがグラフィックスカードのコネクタに正しく接続されていることを確認してください。
モニターの明るさとコントラストは正しく設定されていますか。	モニターの OSD(オンスクリーンディスプレイ) またはモニター前面の調節つまみやボタンを使用してモニターの設定を確認してください。
ブート時に画像が表示されますが、その後何も表示されなくなります。	
確認事項	対処方法
ワークステーションでのモニターの設定が、使用しているモニターに適合していますか。	<ul style="list-style-type: none">• Windows 2000およびWindows XP: ワークステーションを再起動します。Startup 画面が表示されたらメッセージに従って [F8] を押し、ワークステーションを VGA モードで起動します。ワークステーションが起動したら、ワークステーションの [コントロールパネル] 内にある [画面] アイコンをダブルクリックし、[設定] タブをクリックします。スライダーを使用して解像度を設定し調節を行ってください。
ワークステーションは起動しても、問題が解決されない場合は、 HP e-DiagTools を実行します (39 ページを参照)。	

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

マウスが動作しません。	
確認事項	対処方法
マウスのケーブルが正しく接続されていますか。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークステーションの電源をオフにします (USB マウスでは必要ありません)。 2. マウスケーブルをワークステーション背面の正しいコネクタに接続します (簡単に接続できるように色分けされています)。 3. ワークステーションの電源をオンにします。
適切なドライバを使用していますか。当社の拡張マウスを使用している場合は、正しいドライバをインストールするようにしてください。このドライバは、Windows 2000 および XP がプリインストールされているシステムには含まれています。	<p>最新のドライバを以下の当社の Web サイトからダウンロードしてください。</p> <p>www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)</p>
最新の BIOS を使用していることを確認します。	<p>最新の BIOS を当社の Web サイトからダウンロードしてください。</p> <p>www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、 www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)</p>
マウスが汚れていませんか。	<p>マウスボールを以下の図のように清掃してください。</p> 
マウス自体に異常はありませんか。	他のマウスが正常に作動する別のコンピュータに接続し、マウス自体が故障していないことを確認します。
ワークステーションは起動しても、問題が解決されない場合は、HP e-DiagTools を実行します (39 ページを参照)。	

ワークステーションのトラブルシューティング ハードウェアの問題の解決

表 2-2 ワークステーションのハードウェアに問題がある (続き)

ワークステーションでサウンドが鳴りません。	
確認事項	対処方法
黄緑色のスピーカ / ヘッドホンコネクタが差し込まれていますか。	黄緑色のコネクタを取り外して内蔵スピーカを有効にしてください。

トラブルシューティングのヒント

- ワークステーションを再起動し、問題が再現されるかどうかを確認します。
- HP e-DiagTools** を実行し、ワークステーションのハードウェアプロファイル (サポートチケット) を作成します。ハードウェアプロファイルは、当社のサポートあてに **FAX** または電子メールで送ることができます。**e-DiagTools** の使い方の詳細については、**39** ページで説明します。
- HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語))** にアクセスし、発生している問題が既知のものであるかどうかを確認します。
- ワークステーションの **BIOS** をアップデートします。ご使用のワークステーションに対応した最新の **BIOS** および **BIOS** のアップデート手順は、**HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語))** で入手できます。
- 問題を正確に説明できるように、問題の詳細を記録します。
- 問題が発生する直前に行った作業をすべて思い出します。
- 可能な場合は、**HP** サポートに問い合わせるまでシステムを稼動したまま、手を触れないようにしておきます。
- 当社製品の取り扱い店、もしくは **HP** サポートにご連絡ください (**HP** サポートでは午前半ばおよび夕方方の早い時間が大変混み合います。その他の時間帯にてお問い合わせいただくことをお勧めします)。

鍵を紛失したら

ワークステーションの鍵を紛失した場合には、**HP** 販売店、当社営業所またはサービスセンターに、新しいロックをご注文ください (製品番号 : **5062-5590**)。ロックには鍵が **2** 本付属します。ロックの取り付けにつきましては、**HP** 販売店にご相談ください。

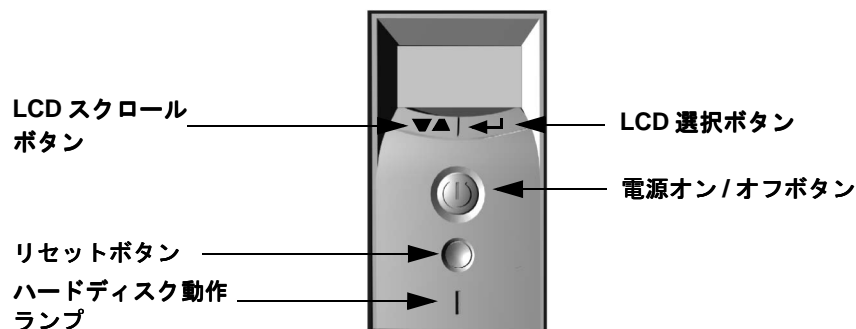
より詳細な情報が必要な場合

より詳細な情報は、HP サポート Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)) で『*x2100 Technical Reference*』(英語) を参照してください。

HP MaxiLife による問題の診断

システムやモニターが正しく動作しないときでも、HP MaxiLife LCD ステータスパネルによりワークステーションの問題を診断することができます。また、ステータスパネルにはサポートを受けるときに必要なシステム情報も表示されます。

図 2-1 MaxiLife ステータスパネル



LCD コントロールボタンのいずれかを押すと、メニューが表示されます。スクロールボタンを使用してメニュー項目をスクロールし、選択ボタンで必要な項目を選択します。MaxiLife ディスプレイの詳細については、HP ワークステーション Web サイト (www.hp.com/go/workstationsupport(英語)) の『*x2100 Technical Reference*』(英語) を参照してください。

ブート前チェックのエラーメッセージ

ワークステーションの ON/OFF ボタンを押すと、HP MaxiLife はシステムをチェックしてから起動シーケンスを開始します。ブート前の診断テストは、コンピュータ機能に対して重要度の高いテストから順に行われます。エラーが検出されると、メッセージが LCD ステータスパネルに表示されます。この場合は、以下のいずれかのエラーメッセージが表示されます。

注記 ワークステーション内部のコンポーネントへのアクセス方法は、『*x2100 Technical Reference*』(英語)(www.hp.com/go/workstationsupport(英語)) を参照してください。

表 2-3 表示されるワークステーションのエラー

メッセージ	解決方法
ERROR! CPU Socket	プロセッサが CPU ソケットに正しく装着されていることを確認します。
ERROR! Power Supply	電源と電源ケーブルの接続を確認します。
ERROR! No video	グラフィックスカードが正しく取り付けられていることを確認します。
ERROR! Contin Module	RDRAM コンティニューイティモジュールが取り付けられていることを確認します。
ERROR! No RIMM	RDRAM モジュールが取り付けられていません。
ERROR! RIMM Speed	取り付けられている RDRAM モジュールに、互換性のないスピードレートものがあります。
Mem Miscompare	同容量の RDRAM モジュールがペアで正しく取り付けられていることを確認します。
Memory Error	メモリモジュールが正しく取り付けられていることを確認します。

POST フェーズでのエラーメッセージ

上記のチェックに続いて、POST(パワーオンセルフテスト)シーケンスが開始されます。このフェーズでは、以下のいずれかのメッセージが表示されます。

表 2-4 表示されるワークステーションのエラー

メッセージ	解決方法
HP x2100 Info Services	エラーはありません。
Error (エラーの説明)	POST エラーが発生しています。エラーの説明についての詳細は、『 <i>x2100 technical reference</i> 』(英語)を参照してください。

ブート前の診断時の音による信号

ワークステーションを起動すると、BIOS はブート前の診断およびパワーオンセルフテスト (POST) を実行してハードウェアの構成に問題がないかどうかをテストします。POST の実行中に問題が検出されると、ワークステーションのモニターにエラーが表示されます。

ただし、ワークステーションがエラーメッセージをディスプレイに表示できない場合は (グラフィックスコントローラに障害があるときなど)、ブート前の診断時にワークステーションの内蔵スピーカから音による信号が発せられます。

ブート前の診断で発せられる連続的な音には、2 つの種類があります。1 つ目は、異常が検出されたことを示すもので、特殊な連続音です。この一連のトーンには、必要に応じて正規のヘルプデスクまたは HP サポートに電話を通じて送信できる電子信号も含まれています。この信号は、人間の耳で聞き分けることはできませんが、ヘルプデスクの装置を使用すればこの信号をデコードしてワークステーションのモデルとシリアル番号を読み取ることができます。

2 つ目の種類の音は一連の長いビープ音で、特定のエラーを示します。このようなビープ音が鳴った場合は、ビープ音の数を数えてください。問題の原因を特定するのに役立ちます。

ビープ音の回数	説明
1	プロセッサが存在しないか正しく接続されていません。または ZIF ソケットが閉じられていません。
2	電源が保護モードになっています。
3	メモリが存在しないか、不良なメモリモジュールまたは互換性のないメモリモジュールが存在します。
4	グラフィックスカードに問題があります。
5	PnP またはワークステーションの初期化に問題があります。
6	BIOS に異常が発生しています。障害回復手順を実行する必要があります。
7	システムボードに障害があります。

メモリ (コード 3)、ビデオカード (コード 4)、プラグアンドプレイ / ワークステーション (コード 5) のエラーは、15 秒間の遅延があったときのみビープ音が鳴ります。

ビープ音の回数が聞き取れなかった場合

ビープ音の回数が聞き取れなかった場合は、ON/OFF の電源ボタンを 5 秒以上押し、ワークステーションの電源をオフにしてから、もう一度信号音を聞きます。

HP DiagTools によるハードウェアの診断

注記 トラブルについて当社にお問い合わせをいただく前に、**e-DiagTools** を実行してください。これは、サポート担当者から求められる情報を取得するために行います。

ハードディスクには、**HP DiagTools** または **HP e-DiagTools** というハードウェア診断ユーティリティが含まれているハードウェア診断用のパーティションがあります。これらのユーティリティは、**HP** ワークステーションのハードウェア関連の問題を診断するために使用しますので、削除しないでください。

このユーティリティでは、以下の作業が行えます。

- ハードウェアの構成をチェックし、この構成が正常に機能していることを検査します。
- 個々のハードウェアコンポーネントをテストします。
- ハードウェア関連の問題を診断します。
- 完全なハードウェアの構成を取得します。
- **HP** サポート担当者があらゆる問題を迅速かつ効率的に解決できるよう、正確な情報を提供します。

このユーティリティについての詳細は、当社の **Web** サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)) の『*x2100 technical reference*』(英語)を参照してください。

e-DiagTools の入手方法

HP e-DiagTools は、以下のメディアに収録されています。

- ハードディスクドライブにプリインストールされているユーティリティパーティション (推奨)
- ワークステーションに付属の以下の CD-ROM
 - **HP Workstations Drivers and Diagnostics**
- **HP DiagTools CD**。この CD-ROM は、**HP** サポート **Web** サイト (www.hp.com/go/workstationsupport (英語)、www.jpn.hp.com/go/ws_support (日本語)) からお申し込みいただけます。

ハードディスク上のユーティリティパーティションから e-DiagTools を起動するには

注記 この方法は、ハードディスクドライブの診断用パーティションが削除されていない場合にのみ実行できます。

1. ワークステーションを再起動し、「**Press F10 to enter hp Utility Partition or any other key to proceed...**」というメッセージが表示されたら、ファンクションキーの **[F10]** を押します。
2. メニューで、**e-DiagTools** によるハードウェア診断を実行するオプションを選択します。

CD-ROM から e-DiagTools を起動するには

1. HP Workstations Drivers and Diagnostics CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. ワークステーションを再起動します。
3. **[F8]** キーを押し、最初のブートデバイスとして **CD-ROM** ドライブを選択します。

注記 CD-ROM ドライブからブートできない場合は、ワークステーションを再起動し、**[F2]** を押して **Setup** プログラムを起動します。ブートデバイスの設定を確認し、ワークステーションが **CD-ROM** からブートできるように設定してください。

HP e-DiagTools の実行

確認事項

- ワークステーションのモデルが **CD-ROM** と一致している必要があります (**CD-ROM** はワークステーションの特定のモデルに対応付けられています)。
- ハードディスクドライブより先に **CD-ROM** ドライブからブートするように構成されている必要があります。

サポートチケットの作成

システム構成とテスト結果を完全に記録するには、サポートチケットを作成する必要があります。サポートチケットとは、単純なテキストファイルで、**HP** サポート担当者などがトラブルシューティングを行う際に必要な情報を含んでいます。

ハードディスクドライブから **HP e-DiagTools** を使用し、ワークステーションが **TCP/IP**(インターネット) プロトコルを使用した **LAN** に接続されていれば、**e-DiagTools** から電子メールでサポートチケットを送信することができます。

CD-ROM から **HP e-DiagTools** を使用している場合は、サポートチケットファイルをハードディスクドライブまたはフロッピーディスクドライブのどちらにでも作成できます。

また、サポートチケットファイルは、「**Support Ticket Viewer**」プログラムを使用して表示することもできます。

サポートチケットファイルは電子メールか **FAX** で簡単に送信できます。

HP リカバリ CD-ROM

HP リカバリ CD は、コンピュータを工場出荷時の構成に復元したり、ドライバやその他の付属するソフトウェアコンポーネントの再インストールを行うときに使用します。これらのドライバおよびソフトウェアユーティリティは、マニュアルや操作ガイドを含んでおり、プリインストールされたソフトウェアを復元できます。HP Workstation Recovery CD と HP Workstations Drivers and Diagnostics CD の 2 枚の CD があります。

利用可能な機能

HP リカバリ CD では、以下の機能を提供します。

- Windows 2000 または Windows XP のインストール：
HP ワークステーションを工場出荷時の元の状態に復元します。

警告	HP リカバリ CD を使用すると、ハードディスクの内容が完全に消去されます。CD を使用する前に、必ずデータおよび作成したファイルのバックアップを行ってください。
-----------	--

リカバリを実行する前に

アップグレード、ダウングレードおよびリカバリを行う前に各機能のチェックリストを作成してください。*Setup* プログラムへの変更を行うには、管理者パスワードが必要になります。変更した内容は、書きとめておいてください。

- ワークステーションのモデルが HP Workstation Recovery CD-ROM と HP Workstations Drivers and Diagnostics CD-ROM に適合している必要があります (HP Workstation Recovery CD-ROM はワークステーションの特定のモデルに対応付けられています)。リカバリを実行するには両方の CD が必要です。
- すべてのデータファイルをバックアップし、必要に応じてソフトウェアアプリケーションもバックアップします。
- リカバリを行う前に最新バージョンの BIOS にアップグレードしておくことをお勧めします。

- **Setup** プログラムの設定 : BIOS レベルのパスワードを消去します。Security メニューで、**Hardware Protection** のすべての項目を“**Enabled**”または“**Unlocked**”(設定可能な場合)に設定します。また、**CD-ROM** からのブートが有効になっていることも確認します。Boot メニューの **Boot Device Priority List** で、ハードディスクドライブではなく、**CD-ROM** ドライブからのブートが優先されていることを確認してください。

フルリカバリの実行

ハードウェアの構成などによって異なりますが、システムを完全にリカバリする際の所要時間は、30 分から 2 時間程度です。

警告	以下の手順を実行すると、ハードディスクドライブの内容がすべて消去されます。必要に応じてデータファイル、およびソフトウェアアプリケーションのバックアップを実行してください。
-----------	--

1. オペレーティングシステムをシャットダウンし、ワークステーションの電源をオフにします。
2. ワークステーションを工場出荷時の構成に復元するため、ワークステーションが到着してから追加した非標準コンポーネントをすべて削除します。
3. リカバリ **CD-ROM** を **CD-ROM** ドライブに挿入し、ワークステーションを起動します。
4. **[F8]** キーを押し、最初のブートデバイスとして **CD-ROM** を選択します。
5. コンピュータが **CD-ROM** から起動し、**DOS** 形式のメニューが表示されます。メニューから適切なものを選択し、**HP** ワークステーションを出荷時の状態に復元します。
6. メッセージが表示されたら、リカバリ **CD** を **CD-ROM** ドライブから取り出します。
7. **HP Workstations Drivers and Diagnostics CD** を **CD-ROM** ドライブに挿入します。
8. **[Y]** キーを押して操作を続行します。
9. メッセージが表示されたら、**HP Workstations Drivers and Diagnostics CD** を取り出し、ワークステーションを再起動してください。インストールプロセスが続行されます。

HP カスタマケアセンターの電話番号

HP カスタマケアセンターでは、当社製品についての問題を解決するためのサポートを行っております。また、必要に応じて適切なサービス手続きを開始します。米国では、**24 時間、365 日**、それ以外の地域では、通常の営業時間帯にご利用いただけます。HP カスタマケアセンターの電話番号は、下記の URL でご確認ください。

<http://www.hp.com/cpsso-support/guide/psd/expectations.html>(英語)

http://www.jpn.hp.com/go/ws_support(日本語)

A 保証および規制に関する情報

Declaration of Conformity according to ISO/IEC Guide 22 and EN 45014	
Manufacturer:	Hewlett-Packard Company 3404 East Harmony Rd. Fort Collins, CO 80528 USA
Declares that the:	
Product Name:	x2000, x2100 & x4000 HP Workstations
Model Numbers:	A6068A, A6078A, A6079A, A6080A, A7191A, A7215A, A7216A, A7218A, A7218B, A7223A, A7223B, A7224A, A7224B, A7225A, A7230A, A7230A, A7230A, A7232A, A7233A, A7234A A7236A, A7236B, A7237A, A7238A, A7263A, A7264A, A7265A, A7266A, A7267A, A7282A, A7773A, A7774A, A7775A, A7800A, A7805A, A7818A, A7819A, A7822A, A7823A, A7824A, A7825A, A7913A, A8023A, A8024A, A8029A, A8034A, A8035A, A8036A, A8037A, A8039A, A8040A, A8041A, A8042A, Y1734A, Y1735A, Y1736A, Y1736A, Y1737A, Y1738A, Y1739A
Base Product Number:	A1280A
Product Options:	All
conforms to the following specifications:	
Safety.	IEC 950:1991+A1+A2+A3+A4+A11/EN 60950:1992+A1+A2+A3+A4+A11 IEC 60825-1:1993/EN60825-1:1994+A11 Class 1 for LEDs USA 21CFR Subpart J – for FC Laser module China GB4943-1995 Russia GOST R 50377-92
EMC.	CISPR 11: 1997 / EN 55011: 1991 Class A CISPR 22: 1993 +A1+A2 / EN 55022: 1994+A1+A2 Class A EN 50082-1:1992 Also compliant with: IEC 1000-3-2: 1995 / EN 61000-3-2: 1998 IEC 1000-4-2: 1995 +A1 / EN 61000-4-2: 1999 - 4kV CD, 8 kV AD IEC 1000-4-3: 1995 / EN 61000-4-3: 1996 - 10 v/m IEC 1000-4-4: 1995 / EN 61000-4-4:1995 -2 kV Signal, 4 kV Power Lines Australia/New Zealand AS/NZS 2046.1/2:1992, AS/NZS 3548:1995 China GB9254-1988 Japan VCCI Class A Russia GOST R 29216-94 Taiwan CNS13438 Class A U.S. FCC Part 15, Class A
and is certified by:	UL Listed to UL1950, 2nd edition, File E146385 cUL Listed to CSA 22.2 No. 950-M93 TUV Certified to EN60950 2nd edition with A1+A2+A3+A4+A11 HP Fort Collins TCD HTC
supplementary information:	
The product herewith complies with the requirements of the following directives and carries the CE marking accordingly:	
- the EMC directive 89/336/EEC and 92/31/EEC and 93/68/EEC	
- the Low Voltage Directive 73/23/EEC and 93/68/EEC	
This product was tested in a typical Hewlett-Packard workstation configuration.	
For Compliance Information ONLY, contact: European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Dept. HQ-TRE Standards Europe, Herrenberger Strasse 130 Boeblingen (FAX: +49-7031-14-3143) Americas Contact: Hewlett-Packard, TCD Quality Mgr., Mail Stop 65, 3404 E. Harmony Road, Fort Collins, CO 80528, U.S.A.	

規制に関する情報

Federal Communications Commission (FCC) Radio Frequency Interference Statement (for USA only)

注記 This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules and the Canadian Department of Communications. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Hewlett-Packard's FCC Compliance Tests were conducted with HP-supported peripheral devices and HP shielded cables, such as those you receive with your system. Changes or modifications not expressly approved by Hewlett-Packard could void the user's authority to operate the equipment.

Notice for Canada

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la Class A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Safety Warning for the USA and Canada

If the power cord is not supplied with the computer, select the proper power cord according to your local national electric code.

USA: use a UL listed type SVT detachable power cord.

Canada: use a CSA certified detachable power cord.

For your safety, never remove the workstation's cover without first removing the power cord and any connection to a telecommunication network. Always replace the cover before switching on again.

保証および規制に関する情報

規制に関する情報

Si le cordon secteur n'est pas livré avec votre ordinateur, utiliser un cordon secteur en accord avec votre code électrique national.

USA: utiliser un cordon secteur "UL listed," de type SVT.

Canada: utiliser un cordon secteur certifié CSA.

Pour votre sécurité, ne jamais retirer le capot de l'ordinateur sans avoir préalablement débranché le cordon secteur et toute connection à un réseau de télécommunication. N'oubliez pas de replacer le capot avant de rebrancher le cordon secteur.

Notice for the Netherlands

Bij dit apparaat zijn batterijen geleverd. Wanneer deze leeg zijn, moet U ze niet weggooien maar inleveren als KCA.

Notice for Germany

Wenn die Batterie nicht korrekt eingebaut wird, besteht Explosionsgefahr. Zu ihrer eigenen Sicherheit sollten Sie nicht versuchen, die Batterie wiederaufzuladen, zu zerlegen oder die alte Batterie zu verbrennen. Tauschen Sie die Batterie nur gegen den gleichen oder ähnlichen Typ aus, der vom Hersteller empfohlen wird. Bei der in diesem PC integrierten Batterie handelt es sich um eine Lithium-Batterie, die keine Schwermetalle enthält. Batterien und Akkumulatoren gehören nicht in den Hausmüll. Sie werden vom Hersteller, Händler oder deren Beauftragten kostenlos zurückgenommen, um sie einer Verwertung bzw. Entsorgung zuzuführen.

Noise Declaration for Germany

Lärmangabe nach Maschinenlärmverordnung - 3 GSGV (Deutschland) LpA < 70 db am Arbeitsplatz normaler Betrieb nach EN27779: 11.92.

Notice for Japan (Class A)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

Notice for Korea

시용시 안내문 (A급 기기)

이 기기는 업무용으로 전자파장애경정을 받은
기기이오니, 만약 잘못 구입하셨을 때에는 구입
한 곳에서 비입무용으로 교환하시기 바랍니다.

Notice for Taiwan

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的
環境中使用時，可能會造成射頻
干擾，在這種情況下，使用者會
被要求採取某些適當的對策。

HP ハードウェア保証

重要 これはハードウェア製品の保証書です。十分注意してよくお読みください。

保証条件は、国によって異なる場合があります。詳細は、正規の **HP** 販売店または当社営業所およびサービスセンターまでお問い合わせください。

当社製品には、新品と同じ性能の再生部品が使用されていることがあります。また、一時的使用を条件に、再生部品を使用することがあります。

システムプロセッサユニットへ接続される当社の外付け製品（外部記憶サブシステム、ディスプレイ、プリンタ、および他の周辺装置など）は、ハードウェア保証の対象となり、当社製ソフトウェアは、**HP** ソフトウェア製品限定保証の対象となります。

豪州およびニュージーランドのお客様との取り引きについて：本保証書記載の保証条件は、法的に認められる場合を除き、本製品の販売に適用される法律上の強制的権利を除外、制限、または修正するものではなく、この権利に追加されるものです。

3 年間限定ハードウェア保証

ヒューレット・パッカード社（当社）は、お客様が製品を受領したときから **3 年間**、素材および製造上の瑕疵に対してハードウェア製品を保証します。

3 年間の保証には、ご使用ははじめから **1 年目**までの出張サービス（部品および作業費は無料）、以降 **3 年目**までの部品サービスが含まれています（当社のサービスセンター、または、正規の **HP** コンピュータ取り扱い修理センターによる）。

上記で定めた瑕疵の通知を当社が保証期間内に受領した場合は、当社はその裁量により、瑕疵であると判断した製品を修理または交換するものとします。

当社が妥当な期間内に製品の修理または交換が実行できない場合は、その製品の返却時にご購入代金をお客様にご返却いたします。

システムプロセッサユニット、キーボード、マウス、およびシステムプロセッサユニット内部の当社製アクセサリ（ビデオアダプタ、大容量記憶装置、およびインタフェースコントローラなど）が本保証の対象となります。

本保証は、世界各地で定められている特定の条件（最寄りの当社営業所にお問い合わせください）に基づき、当社または正規の **HP** コンピュータ販売店から購入された製品に適用されます。元の購入者が使用するために購入した製品、または元の購入者がシステムの付属部品として組み込んだ製品もこの保証の対象になります。使用国で製品の保証が有効な場合、その製品を使

用国で購入した場合と同様のサービスが提供されますが、その製品が使用国で動作するように設計されている場合に限られます。使用国で、その製品を通常当社が販売していない場合は、購入国にご返送後、サービスを受けていただくことになります。出張サービスを行うまでの時間、および部品が届くまでの時間は、現地での部品調達上の諸事情により、標準的な条件とは異なることがあります。

保証限度

上記の保証は、誤用、不正な変更、製品の環境仕様外での使用もしくは保管、輸送時の損傷、不適切な保守作業、または他社のソフトウェア、アクセサリ、媒体、備品、消耗品、もしくは本製品での使用を目的として設計されていないものから生じた瑕疵には適用されないものとします。

バンドルまたはプリロードされたソフトウェアをワークステーションに再ロードすることは、当社の保証対象ではありません。

当社は、本製品に関し、書面または口頭を問わず他の保証は一切行いません。商品性または適合性の黙示保証は、本文書による保証の 3 年間に限定されます。国または州によっては黙示保証の期間制限が認められていませんので、上記の制限ないし免責は適用されない場合があります。

この保証は特定の法的権利を付与するものですが、国や州によっては他の権利も与えられる場合があります。

責任および補償の制限

上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

上記の責任制限は、この取り決めに従って販売された当社製品に瑕疵があり、人身傷害、死亡、財産損害の直接的な原因であると正当な管轄権を有する裁判所によって裁決された場合には適用されません。ただし当社の財産損害責任は、**\$50,000** または損害を引き起こした製品の購入価格を超えないことを条件とします。

国または州によっては付随的または派生的損害（失われた収益を含みます）に対する免責または制限が認められないため、上述の制限または免責は適用されない場合があります。

出張保証サービスの受け方

出張修理保証サービスを受ける場合は、当社営業所およびサービスオフィス、修理受付サポート窓口（電話番号：0120-742-594）、または HP コンピュータ正規販売代理店までお問い合わせください。その際には、購入日を証明できるものをご提示ください。

保証および規制に関する情報

HP ハードウェア保証

保証対象製品は、システムプロセッサユニット、キーボード、マウス、およびシステムプロセッサユニット内の当社製アクセサリ（ビデオアダプタ、大容量記憶装置、インタフェースコントローラなど）です。

保証期間中は、マウスやキーボードなどお客様がお取替可能なコンポーネントについては、お客様との合意のもと、部品を発送いたします。この場合、発送費用は当社が負担し、必要に応じて電話によるコンポーネントの交換に関するサポートをいたします。また、当社が返送をお願いする故障部品の送料についても当社が負担いたします。

システムプロセッサユニットの内部外部を問わず、不具合の原因が当社以外の製品に起因することが判明した場合は、このサービスに係った費用（サービスエンジニア派遣費、作業費など）を請求させていただきます。

特定の地域では本製品に関する出張サービスが制限されている、もしくは行えない場合があります。地理的条件、道路状況、または適切な公的交通機関がなく通常の移動が不可能な地域では、別途契約あるいは追加費用をその都度ご相談させていただきます。

当社出張サービスの応答時間は、当社サービスオフィスから **160km** 圏内では通常翌営業日です（当社休日を除きます）。**320km** 圏内では翌々営業日、**480km** 圏内では翌々々営業日です。

480km を超える地域については、ご相談させていただきます。各国のカスタマサポートについての情報は、当社営業所およびサービスオフィスにお問い合わせください。

取り扱い店または販売代理店のエリア制限および応答時間は、加盟取り扱い店または販売代理店によって規定されています。

時間外または休日のサービス、通常の応答時間より早い緊急修理サービス、または出張サービス対象地域外でのサービスに関するサービス契約は、特別対応サービス料金を頂くことによりご提供が可能な場合があります。詳しくは、当社、正規取り扱い店、または正規販売代理店にご相談ください。

お客様の責任

出張サービス訪問または交換用部品の発送の前に、当社提供の診断プログラムをお客様に実行していただく場合があります。

お客様の所有物および秘密情報の安全確保、およびファイル、データ、プログラムの消滅もしくは変更された場合の復元対策は、お客様の責任で行ってください。

製品からの距離が適度な場所に十分な作業スペースと設備を用意してください。製品の保守に必要な情報と設備をご提供いただく必要があります。また、通常の運用時に使用される備品や消耗品もご提供いただくようお願いいたします。

お客様の代理人には、常に立ち会っていただく必要があります。製品の使用環境が修理担当者の健康を害する危険がある場合は、その旨を修理担当者にお伝えください。また、当社もしくはサービス取り扱い店の立ち会いのもと、お客様側の保守担当者に製品の保守を行っていただく場合があります。

部品保証サービスの受け方

部品保証サービスをご利用の際は、交換用部品の発送前に当社提供の診断プログラムを実行していただく場合があります。また、ご購入されたことが確認できるものをご用意ください。

当社から要望がありました際は、瑕疵部品をご返却ください。当社部品サービスセンターまでのご返却費用は当社が負担いたします。

電話サポートサービス

ワークステーションの無料電話サポートは、購入日から **1** 年間ご利用いただけます。このサービスは、**HP** ワークステーションの基本的構成およびセットアップ、およびバンドルまたはプリロードされているオペレーティングシステムに対する技術サポートを提供するものです。

当社では、ネットワークサーバーとして構成されたワークステーションに対する電話サポートは行っておりません。

HP ソフトウェア製品限定保証

この HP ソフトウェア製品限定保証では、当社製品の一部として提供されるオペレーティングシステムソフトウェアを含め、すべての当社ソフトウェア製品を対象とします。当社の保証条件と当社以外の保証条件が重複する場合は、当社の保証条件が優先するものとします。

HP ソフトウェア製品限定保証

当社は、ご購入日から **90 日間**、プリインストール製品（ソフトウェア）がプログラミングどおり正常に動作することを保証いたします。ただし、すべてのファイルが適切にインストールされている必要があります。また、ソフトウェアのフリーズおよびエラーに対する保証は行いません。上記保証期間中に、製品がプログラミングどおり正常に動作しない場合は、製品の交換、もしくは製品、対象製品の複製品、インストールマニュアルのご返却、およびリモートサポート（電話または電子メール）を解除していただいた上で、ご購入代金全額をご返却いたします。

他社製ソフトウェア製品（提供されている場合）について: 他社製ソフトウェア製品は、ソフトウェアベンダによって保証されます。当社では保証いたしません。

オペレーティングシステム

マイクロソフト社製オペレーティングシステムおよびソフトウェア

当社は、購入日から **1 年間に限り**、プリインストールされたバージョンのオペレーティングシステムおよびソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを保証します。当社は、オペレーティングシステムの機能、ソフトウェアが中断しないこと、およびソフトウェアにエラーがないことは保証しません。保証期間内において、インストールと構成の両方またはいずれかの作業中にソフトウェアがプログラミング命令の実行に失敗した場合は、当社は再インストールおよび構成を行うためのリモートサポート（電話および電子メール）を提供いたします。

その他の他社製オペレーティングシステムについて: 他社製オペレーティングシステムは、オペレーティングシステムベンダによって保証されます。当社では保証しません。

リムーバブルメディア（提供されている場合）

当社は、リムーバブルメディアが提供されている場合、通常の使用状態において材料または製造上の瑕疵なくこのメディアに記録できることを購入日から **90 日間保証**します。保証期間中に瑕疵があることが判明した場合は、当社が提供するメディアと交換していただくか、メディアを返品し、非リムーバブルメディアに複製したソフトウェアをすべて破棄していただいた上で購入代金を返却いたします。

当社サービス手続き

保証請求の通知: 保証請求は、保証期間終了後 **30 日以内**に書面にて当社まで通知してください。

保証の制限: 当社は、書面または口頭を問わず、本製品に関して他の明示的保証を一切行いません。商品性または特定目的に対する適合性の黙示保証は、**90 日間**に限定されます。誤用、不正な変更、不適切な保守作業、または当社以外の機器とともに不正に使用して生じた瑕疵の場合、当社はその責を負いません。

責任および補償の制限: 上記の補償は、お客様の独占的かつ排他的補償です。当社は、いかなる場合においても直接的、間接的、特別、付随的、または派生的損害（失われた収益を含む）に対し、保証、契約、不法行為、または他のいかなる法理論を問わず、その責は一切負わないものとします。

本保証は、お客様の制定法上の権利を侵害するものではありません。

保証サービスの受け方: 保証サービスは、最寄りの当社営業所、または当社 Web サイトに記載の住所で受けることができます。

HP ソフトウェアライセンスの許諾

当社製品には、ソフトウェアプログラムが含まれています。

本製品を使用する前にライセンスの許諾および限定保証書をよくお読み下さい。ライセンス許諾条件すべてに同意する場合のみ、ソフトウェアの権利が提供されます。製品の使用をもって条件に同意したものとします。ライセンス契約の条件に同意しない場合は、速やかにソフトウェアをハードディスクドライブから削除し、マスターディスクを破棄するか、完全な状態の当社製品およびソフトウェアを返却して購入代金の返却を受けてください。ソフトウェア上の設定等を行った時点でライセンスの条件に同意したものとします。

以下に別途記載されている場合を除き、この HP ソフトウェア製品ライセンスの許諾は、当社コンピュータ製品の一部として提供されるすべてのソフトウェアの使用に適用されるものとし、オンラインまたは当社製品の梱包内の資料にある他社製ソフトウェアライセンスの条件は破棄されるものとします。

マイクロソフト社のオペレーティングシステムおよびソフトウェアアプリケーションは、マイクロソフト社の公文書に記載されたマイクロソフトライセンスの許諾、またはマイクロソフトソフトウェア製品の実行時に画面に表示されるマイクロソフトライセンスの許諾に基づいてライセンスされており、当社以外のソフトウェアおよびオペレーティングシステムは、それらを作成したベンダ等によってライセンスされています。以下のライセンス条件は、当社ソフトウェア製品に関するものです。

使用: ソフトウェアは、**1 台**の当社製品でのみ使用できます。ソフトウェアをネットワーク上で使用すること、または複数の当社製品で使用することはできません。法律で許可された場合を除き、逆アセンブルおよび逆コンパイルは禁止されています。

複製および改作: ソフトウェアの複製および改作は、**(a)** 保管目的 **(b)**HP 製品で HP ソフトウェアを使用する際、複製または改作が必要不可欠な手順である場合には、複製または改作物を他の目的で使用しない限り、許可されます。

保証および規制に関する情報

HP ソフトウェア製品限定保証

所有権 : 物理的なメディアの所有権を除き、ソフトウェアの権利または所有権を持たないことに同意します。ソフトウェアには著作権が設定されており、著作権法に基づいて保護されていることを認め同意します。また、**HP** 社製以外のソフトウェアはソフトウェアの著作権表示に記されているソフトウェア会社によって開発されたものであり、ソフトウェア会社は著作権侵害または契約違反について責任を問う権限を有することを認め、同意します。

製品のリカバリ CD-ROM: 当社製品に製品のリカバリ **CD-ROM** が付属する場合、**(i)** 製品のリカバリ **CD-ROM** とサポートユーティリティソフトウェアは、当社製品のハードディスクを復元する目的にのみ使用することができます。**(ii)** 製品のリカバリ **CD-ROM** に付属するマイクロソフト社のオペレーティングシステムの使用には、マイクロソフトライセンスの許諾が適用されるものとします。

ソフトウェアの権利の譲渡 : ソフトウェアの権利は、付与されている権利のみと限定し、かつ本ライセンスの許諾の条件によって第三者が拘束されることの事前合意を得た場合のみ、譲渡を行うことができます。譲渡を行う場合は、ソフトウェアの権利が消滅すること、およびソフトウェアの複製および改作物を破棄または第三者に引き渡すことに同意しなければなりません。

サブライセンスおよび配布 : 当社の書面による事前承諾なく、物理的メディアまたは遠隔通信によってソフトウェアのリース、サブライセンス、またはソフトウェアの複製や改作物の配布は行えません。

契約の終了 : 当社は、お客様が契約条件に従わない場合、契約の履行を要求したにもかかわらず、その通知から **30** 日以内に履行されなかったときには、ソフトウェアライセンスを終了することができます。

アップデートおよびアップグレード : 別のサポート許諾に基づいて当社から提供するアップデートおよびアップグレードは、ソフトウェア製品限定保証の対象とはなりません。

輸出条項米国輸出 : 管理法または他の適用法に違反してソフトウェア、複製、または改作物の輸出または再輸出を行わないことに同意する必要があります。

米国政府の制限権利 : 使用、複製、開示は当社の標準商業ライセンス条項に準拠し、国防総省以外の省庁および米国政府の機関に対するヒューレット・パッカード社の権利 (**3000 Hanover Street, Palo Alto, CA 94304 U.S.A. Copyright (c) 2002 Hewlett-Packard Company**) は **FAR 52.227-19(c)(1,2) (1987 年 6 月)** に示されています。

著作権表示 : お客様はさらに、**DFARS 252-227-7014(1995 年 6 月)** で定義されている「商業用コンピュータソフトウェア」、**FAR 2.101(a)** で定義されている「商業用品目」、または **FAR 52.227-19** (または、それに相当する機関条例ないし契約条項) で定義されている「限定コンピュータソフトウェア」のいずれかの対象であるものとして、ソフトウェアが配布およびライセンスされていることに同意するものとします。お客様は、適用される **FAR** 条項ないし **DFARS** 条項、または当社の標準的なソフトウェアの許諾によって、このソフトウェアに関する特定の権利のみを保有することに同意するものとします。

オペレーティングシステムのサポートパックに対するサポート方針: 当社は、最新のサービスパックを含め、マイクロソフト社のオペレーティングシステムを使用する **HP** ワークステーション向けにエンドユーザーサポートを提供しています。本サポートのご利用期間は、ソフトウェアがリリースされてから **30** 日以内です。

